



大日本印刷株式会社様

[ 印刷関連、情報通信等 ]

## モバイルワークを活性化し、業務効率をアップ。 子育てとの両立など、多様な働き方をサポート。

幅広い事業分野で多様な製品やサービスを提供する世界最大規模の総合印刷会社である大日本印刷株式会社様（以降、DNP様）、1876年の創業以来、強みとしてきた印刷技術や情報技術を活かし、出版印刷や商業印刷から、包装や建材、ディスプレイ関連製品や電子デバイスなどへと事業領域を拡げてこられました。その中心を担う情報イノベーション事業部では、従来から業務効率化の推進と顧客へのレスポンス向上のため、社外でもセキュアな環境を保つシンクライアント専用のノートPCを使用されていました。今回、さらなる業務効率化に向け、レッツノート10.1型 CF-RZ6を採用いただきました。

※PC内のアプリケーションやデータの保存、処理などを全てクラウドサーバー上で行い、端末には一切のデータを残さない運用方式。



情報システム本部  
システム推進部 部長  
鬼塚栄治 様



情報イノベーション事業部  
情報化推進部 部長  
山頭理 様



情報イノベーション事業部  
東京第3営業本部 営業第2部 第2課  
吉岡あずさ 様



（写真上）社内ミーティングには、CF-RZ6のみを持って集合。資料のペーパーレス化が進み、プリントアウトの手間とコストを削減。議事録の作成もその場で完了できるようになり、業務が効率的に。

（写真左）軽量でコンパクトなCF-RZ6は、女性用の肩掛けバッグにもすっぽり。持ち歩き負担が大幅に減少。

### 導入の背景

業務効率と顧客満足さらなる向上を目指し、シンクライアント端末のユーザビリティを再検証。従来の専用端末から、一人ひとりの働き方に沿う汎用端末へ。

今回CF-RZ6を採用された情報イノベーション事業部は、マーケティングコミュニケーション事業、セキュアコミュニケーション事業、ビジネスプロセスアウトソーシング事業を核に幅広い事業を展開されています。多様化するメディア環境の中で、スピーディな対応が求められる事業の性質から、2011年以降は外出の多い営業担当者を中心にノートPCを支給。社内ではデスクトップPCを利用し、社外ではシンクライアント専用のノートPCを使う体制を取られていました。導入当時は好評だったシンクライアント端末ですが、導入から4年を経て運用の見直しが必要になっていたそうです。鬼塚様によれば、今後ノートPCの使用目的が社外でのコラボレーション用途に拡大し、社員の働き方の改善やクライアントへのレスポンスの向上などが求められることを考えると、機動性の向上が緊急の課題に。解決のため、シンクライアント専用端末ではなく、シンクライアントサービスも利用可能で、いろいろなユーザーニーズに柔軟に対応可能な汎用端末の採用を検討されました。

DNP様では約半年間をかけ端末を検討。さまざまな機種を取り寄せて使用感をチェックし、各事業部の担当者を集めて品評会も実施。検討時は、軽さと丈夫さは必須条件とした上で、使用感や拡張性の高さなどにもこだわったと鬼塚様。「CF-RZ6は小型にもかかわらずキーボードのストロークが十分確保され、打った時の安定感があり、長時間使用にも優れていると思いました。軽さや丈夫さと合わせて、持ち運びにここまで特化した端末は他には無いと感じましたね。最低5年間の継続利用を考えていたので、保証期間を5年に延長できることも魅力でした。また将来的にタブレット端末を使用するニーズが発生することも見据え、画面を折り返してタッチパネル操作ができる仕様に着目して選びました。」端末を実際に使用する情報イノベーション事業部の山頭様は、映像の出力端子がVGAとHDMIの両方を備えていることも魅力と語ります。「情報伝達の形が急速に変化している中、クライアント側の設備もどんどん変化しています。とはいえ全てが一気に新しくなるわけではありません。そうした過渡期に対応する端末として非常に適していると思います。」

#### 導入のポイント

##### ポイント1

モバイルワークに適した  
軽量かつ長時間駆動

##### ポイント2

HDMIだけでなく直接VGA接続も  
できる、豊富な入出力端子

##### ポイント3

長期利用を支える  
5年間の延長保証

